



## 平成29年第5回定例記者会見

日時：平成29年9月12日（火）11:00～12:00

場所：豊橋技術科学大学 事務局3階 大会議室

### <記者会見項目予定>

- ① 全日本学生フォーミュラ大会報告  
【豊橋技術科学大学 自動車研究部】（別紙1参照）
- ② 第40回技科大祭開催について  
【豊橋技術科学大学技科大祭実行委員会】（別紙2参照）
- ③ 第33回定期演奏会開催について  
【豊橋技術科学大学吹奏楽団】（別紙3参照）
- ④ 男女共同参画推進本部主催イベント  
「イクボスとワークライフバランス」特別講演会  
「女性のプレゼンカアップ研修」豊橋市との連携事業  
【男女共同参画推進本部 副本部長/学長補佐 中野 裕美】（別紙4参照）
- ⑤ 平成29年度 社会人向け実践教育プログラム 10月以降開講の7講座のお知らせ  
【社会連携推進センター 副センター長/准教授 渋澤 博幸】（別紙5参照）
- ⑥ 豊橋を中心とした日本の国際協力活動！  
～産学官連携による産業クラスターの取り組みを通じて～  
【国際協力センター 特任助教 余語豊彦】（別紙6参照）
- ⑦ 尾車浩一 氏（元大関・琴風、尾車部屋親方、日本相撲協会 理事・事業部長）を講師に迎え、豊橋技術科学大学第2回ドリームレクチャーズを開催します。  
【総務課総務係】（別紙7参照）

### <本件連絡先>

総務課広報係 河合・高柳・梅藤

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509

# 全日本学生フォーミュラ 大会報告



豊橋技術科学大学  
自動車研究部

## 豊橋技科大の自動車研究部

大学の講義で学んだ知識等を活かして、1から車の製作を学生が行っています。自分たちで資金集めや設計・製作、評価、車のセッティング等をすべて行います。

そして、全日本学生フォーミュラ大会に参戦しています！

## 全日本学生フォーミュラとは

日本の学生にもものづくりの機会を与える目的で2003年に発足された、学生の自作によるフォーミュラスタイルのレーシングカーの競技会。今年は9月5(火)～9月9日(土)に静岡で開催され、約90ものチームが参戦しました。

# 審査の概要について

- 車検
- 静的審査
  - コスト
  - プレゼンテーション
  - デザイン
- 動的検査
  - アクセラレーション
  - スキッドパッド
  - オートクロス
  - エンデュランス
  - 効率

これらの審査結果、計1000点満点で順位を決定します。

安全性、デザイン性、そしてレースには欠かせないスピード。これらトータルで優れたチームが優勝を手にします。

## 豊橋技術科学大学の結果は・・・

●車検	.....	クリア
●静的審査		
■コスト	.....	46位
■プレゼンテーション	.....	43位
■デザイン	.....	17位
●動的検査		
■アクセラレーション	.....	22位
■スキッドパッド	.....	13位
■オートクロス	.....	9位
■エンデュランス	.....	5位
■効率	.....	46位

総合成績16位

ベスト電気回路設計賞  
を獲得

# 大会の様子（9/9実施のエンデュランス）





## 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成29年9月12日

### 第40回技科大祭開催について

豊橋技術科学大学では10月7日（土）、8日（日）の2日間、第40回技科大祭を開催します。今年のテーマは『外へ出ろ!』です。『外へ出ろ!』には、さらにこれから新しいものを見据えるような思いが込められています。

ゲストイベントや各サークルや有志によるステージイベントや模擬店等の出し物、ビンゴ大会等の楽しいイベントを行う予定です。

皆様のご来場をお待ちしております。

#### <第40回技科大祭>

日時 平成29年10月7日（土）、8日（日） 10:00～

会場 豊橋技術科学大学（豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1）

入場料 無料

駐車場 有り（無料）

URL <http://sea.tut.ac.jp/gikadaisai/>



～昨年の様子～

本件に関する問い合わせ先

学生課学生係 野田 TEL:0532-44-6553

担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

# 第40回 技科大祭

豊橋技術科学大学  
2017/10/7 (Sat) - 10/8 (Sun)

お笑いライブ! [入場料無料]

10/8 (Sun) 11:00 開演 図書館前特設ステージにて



流れ星

6



石出奈々子



インデペンデンスデイ

詳細はこちら → <http://sea.tut.ac.jp/gikadaisai/>

# 第40回 技科大祭

2017.

1日目 10/7 (土)

2日目 10/8 (日)

## MENU1

### お笑いライブ

外部からゲストをお迎えしお笑いライブを開催します!  
参加者全員で盛り上がりましょう!

## MENU2

### ステージ企画

サークルによるパフォーマンス披露,  
飛び入り参加可能なイベントを企画しています!  
豪華景品もあるので是非参加してください!

## MENU3

### 模擬店

今年も色々な種類の模擬店が出店します!  
食べ物系はもちろん、その他にも技科大ならではの  
模擬店がたくさん出店します!

#### <バスでのアクセス>

豊鉄バス技科大線に乗車「技科大前」にて下車

#### <車でのアクセス>

国道1号線から国道259号線を南下  
県道小松原街道を経て、「技科大学東」交差点を右折

詳しい情報は技科大祭ホームページを確認!

<http://sea.tut.ac.jp/gikadaisai/>





平成29年9月12日

## 第33回定期演奏会開催について

### <概要>

豊橋技術科学大学吹奏楽団 第33回定期演奏会を開催いたします。  
日時：平成29年10月9日（月・祝） 開場13時30分 開演14時00分  
場所：ライフポートとよはしコンサートホール

入場料：無料

- <1部>シンフォニックステージ 落夏流穂／柳川和樹作曲 etc.
- <2部>企画ステージ オリジナル音楽劇 赤ずきん in wonderland
- <3部>ポップスステージ Hollywood Milestones etc.

### <実行委員長挨拶>

当団は、「地域に根差す団」をモットーとし、40名近くの団員で日々活動しております。

本演奏会を開催するにあたり、日頃より当団の活動をご支援いただいている大西学長、顧問の岡田先生、本学関係者の皆様、そして地域の方々に、団員一同、厚く御礼申し上げます。

さて、今回の定期演奏会のテーマは、「！」です。「！」は単に驚きを表すだけでなく、言葉にできない感情を表すときに用いられる感嘆符です。

この演奏会を通して、言葉にできない感動・楽しさ・驚き・笑いなど、ちょっとした「！」をたくさん味わっていただけたらと思います、練習に励んでおります。

皆様のご来場を、団員一同、心よりお待ちしております。



過去の演奏会の様子

本件に関する問い合わせ先

学生課学生係 野田 TEL:0532-44-6553

担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

# 豊橋技術科学大学吹奏楽団 第33回定期演奏会

## 第1部

シンフォニック  
ステージ

「落夏流穂」

作曲：柳川和樹

## 第2部

企画ステージ

「赤ずきん

in wonderland」

## 第3部

ポップスステージ

「Hollywood  
Milestones」

編曲：John Higgins

2017.10.9 (月・祝)

開場 13:30 / 開演 14:00

ライフポートとよはし  
コンサートホール

入場無料

(豊橋駅・技科大から無料送迎バス有)

演奏会HP : <http://tutwo.sakura.ne.jp/33rdrc/>

連絡先 : [tutwo.33rd.regularconcert@gmail.com](mailto:tutwo.33rd.regularconcert@gmail.com)

平成29年度豊橋文化祭協賛行事

主催 : 豊橋技術科学大学吹奏楽団

後援 : 豊橋市/豊橋市教育委員会/(公財)豊橋市文化振興財団/東海学生吹奏楽連盟/

中日新聞社/愛知県吹奏楽連盟/豊橋市吹奏楽協会/豊橋ネットワーク(株)[ティーズ]





## 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成29年9月12日

### 男女共同参画推進本部主催イベント

☆「イクボスとワークライフバランス」特別講演会

☆「女性のプレゼンカアップ研修」豊橋市との連携事業

#### <イクボスとワークライフバランス 特別講演会>

働きやすい環境づくりのため“イクボス”と“ワークライフバランス”について、みなさんと考える機会にしたいと思います。

日時：平成29年10月12日（木） 14：40～16：00

場所：図書館1F マルチプラザ

14：40～14：55

「男女共同参画の現状と期待」

中野裕美 男女共同参画推進本部 副本部長

15：00～16：00

「イクボスという概念とワークライフバランスの推進」

安藤哲也 NPO 法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー／代表理事

#### <女性のプレゼンカアップ研修 豊橋市との連携事業>

近年、女性活躍の場の広がりとともに、プレゼンの機会が増えています。そこで、女性の活躍を支援するため、プレゼンカアップ研修講座を企画しました。

豊橋市と連携し、地域の高いニーズを反映して2回開催します。

講師：中野裕美 教育研究基盤センター教授

日時：平成29年11月9日（木） 14：00～17：00

場所：豊橋技術科学大学附属図書館1F マルチプラザ

日時：平成29年11月18日（土） 14：00～17：00

場所：豊橋市男女共同参画センター

受付窓口：豊橋市役所 市民協創部 市民協働推進課 0532-51-2188

本件に関する連絡先

男女共同参画推進本部 副本部長／教授 中野裕美 TEL:0532-44-6506

【男女共同参画推進本部 URL】<http://www.equal.tut.ac.jp/>

広報担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506



平成29年9月12日

**平成29年度 社会人向け実践教育プログラム**

10月以降開講の7講座のお知らせ  
ぜひご活用ください。

**社会連携推進センター**

**<概要>**

社会連携推進センターでは平成28年度より「社会人向け実践教育プログラム」として、社会人の方に業務活用頂く人材育成講座を開講しております。

平成29年度はモノづくり系の「産業技術科学分野」で9講座、農業や防災などの「地域社会基盤分野」で4講座開講致しますが、10月以降開講の7講座について募集を開始致します。

**<詳細>**

本年10月以降に開講を予定している講座 : 講座名 開講日

◆機械加工技術講座

- ① 技術者養成研修「機械加工技術講座」(2)ものづくりの基礎から最先端まで 11/17(金)
- ② 技術者養成研修 (2)「コンピュータによる設計(3D CAD)・解析(CAE)から制作(CAM)までの実際」 平成30年 1/30(火)～2/1(木)

◆分析技術系講座

- ③ 技術者養成研修 組織・構造解析技術講座「ナノテクノロジーのための構造・組織解析VI」 11/22(水)
- ④ 分子工学技術者育成コース 10/25(水)～11/30(木)

◆農業講座

- ⑤ 最先端植物工場マネージャー育成プログラム  
12/2(土)～平成31年3月
- ⑥ IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)  
12/2(土)～平成31年3月

◆防災講座

- ⑦ 東三河防災カレッジ 10/3(火)～2/1(木)



詳細は次ページ一覧、及び下記サイトの受講案内(チラシ等)を参照ください。

<http://www.sharen.tut.ac.jp/program/2017/2017.html>

本件に関する連絡先

担当：研究支援課社会連携支援室 上田／大場 TEL:0532-81-5188

広報担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

◆産業技術科学分野

講座名/講師等	概要	開講予定 /定員/受講料
技術者養成研修「機械加工技術講座」(2)ものづくりの基礎から最先端まで /教育研究基盤センター工作支援部門	基礎的な事項から応用的な内容まで学ぶための講義。工具(ドリル、タップ、エンドミル)の実演で具体的な切削条件等の知見を深める。	11/17(金) 5.5時間 /24名 /4,000円
技術者養成研修 (2)「コンピュータによる設計(3D CAD)・解析(CAE)から制作(CAM)までの実際」 /教育研究基盤センター工作支援部門	コンピュータ設計(CAD), 解析(CAE)からマシンングセンタ/3Dプリンタによる製作(CAM)までを実習。設計解析の概念を理解し, 3D CAD, CAE から 3D プリンタまでを体験。	1/30(火)~2/1(木) 15時間 /10名 /10,000円
技術者養成研修 組織・構造解析技術講座「ナノテクノロジーのための構造・組織解析VI」 /教育研究基盤センター分析支援部門	材料の機能(物性)解明に欠かせない正確な組織・構造解析技術の知識を得ることを目的とし, 先端分析機器を使った無機材料、有機材料、無機・有機複合材料の構造解析技術について理論から実践的な技術まで講義・実習をします。	11/22(水) 4時間 /10名 /5,000円
分子工学技術者育成コース <b>新規</b> /環境・生命工学系: 岩佐教授 他	生命環境に重要な分野を対象に基礎講習の後, 研究室で核磁気共鳴(NMR)装置、質量分析、X線回折装置等による物質の分子・結晶構造決定の実習を行い、分子工学技術をマスターします。	10/25(水)~10/27(金)の講義と11/30までの研修 45時間 /10名/50,000円

◆地域社会基盤分野

最先端植物工場マネージャー育成プログラム /先端農業・バイオリサーチセンター 山内特任准教授 他	将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な最先端施設園芸である植物工場の管理、経営ができるIT農業人材を育成し農業と地域の活性化を図る。平成28年度より文部科学省のBPに認定。	12/2(土)~平成31年3月 (495時間 32単位相当) /10名/50,000円
IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース) /先端農業・バイオリサーチセンター 山内特任准教授 他	土地利用型農業において将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な栽培管理及び経営ができるIT農業人材を育成し、農業と地域の活性化を図る。平成29年度より文部科学省のBPに認定。	12/2(土)~平成31年3月 (405時間 28単位相当) /5名/50,000円
東三河防災カレッジ <b>拡充</b> /安全安心地域共創リサーチセンター 斉藤教授 他	南海トラフ巨大地震の発生に備え、東三河の企業の防災担当者等を養成する『東三河防災カレッジ』は、①防災基礎講座、②経営をまもる育成講座、③建物をまもる育成講座、④生命をまもる育成講座からなり、風水害・地震・液状化対策、事業継続計画の作成、救命講習等について近年の研究や技術開発の成果を踏まえた講義・演習等を行う。	10/3(火)~2/1(木) (①~④4つの講座合計で58時間程度) /各講座50名または30名/各コース1,000円~5,000円

## 平成29年度豊橋技術科学大学技術公開講座「技術者養成研修」

# 機械加工技術講座 『ものづくりの基礎から最先端まで』

本研修では、「機械加工技術講座『ものづくりの基礎から最先端まで』」をテーマに掲げ、日本のものづくり産業の生き残り戦略のキーポイントとなり得る「高速・高効率加工」、「難削材加工」、「環境対応加工」、「微細高精度加工」について紹介します。

基礎的な事項から応用的な内容まで学ぶための講義を行った後、実際に工具(ドリル、タップ、エンドミル)と工作機械を使った実演により、具体的な切削条件等を体験することで知見を深めます。

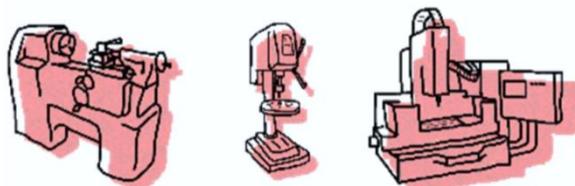
この研修は、実際に工作を行う技能者のみならず、最新の機械加工を知りたい機械設計に携わっている技術者、他企業に機械部品製作を依頼しているがどのような機械でどのような加工が可能かを知りたい技術者などを対象とします。

日 時:平成29年**11月17日(金)** 10:00 ~ 16:30

会 場:豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター附属実験実習工場

定員 : 24名

(最少催行人数 : 10名)



### 講師紹介

村上技術経営研究所 所長 **村上 良彦 氏**

博士(工学) 精密工学会フェロー

元 豊橋技術科学大学

寄付講座「オーエスジーナノマイクロ加工学講座」  
特任准教授

#### ○ 専門分野

極微細切削加工 / 切削工具 / 表面改質 /  
工具材料と熱処理

#### ○ 現在の研究テーマ

切削加工 / 環境対応切削加工 / 研削加工 /  
微細加工

## 開催日時および時間割

平成29年11月17日(金)

日程	内容		場所
9:45 ~ 10:00	受付		教育研究基盤センター 附属実験実習工場
10:00 ~ 10:15	開講式	教育研究基盤センター長挨拶 講師紹介 講師挨拶	〃
10:15 ~ 11:30	講義	機械加工技術講座『ものづくりの基礎から最先端まで』 講師:村上技術経営研究所 村上 良彦	〃
11:30 ~ 12:00	説明	実習の説明と安全講習	〃
12:00 ~ 13:00	昼休憩		
13:00 ~ 16:00	講義 演習 実習	1)ドリル加工:高能率高精度ドリル加工 2)タップ加工:シンクロタップ、プラネットタップ、折損実験 3)エンドミル加工:高能率、高精度、環境対応加工	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
16:00 ~ 16:15	質疑応答		〃
16:15 ~ 16:30	閉講式	講師挨拶 修了証書授与、写真撮影 教育研究基盤センター長挨拶	〃

●修了証書／全課程を修了された方には修了証書を授与

**ところ** 豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター

**対象** 企業等の技術者、高等専門学校教員、工業高校教員 等

**受講料** 4,000円(受講料は、当日、受付において現金でお支払い願います。)

**申込期限** 平成29年11月2日(木)(定員になり次第、受付を終了とさせていただきます。)

## 受講申込書

以下の内容をFAXまたはE-mailでご連絡ください。  
受講決定者には、11月10日(金)までに受講案内のご連絡をいたします。

【申込先】豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター(担当:研究支援課センター支援係 白井・萩原)

FAX : 0532-44-6568 E-mail : kencen@office.tut.ac.jp

ふりかな 氏名		性別	男	・	女
所属機関名					
住所	〒				
TEL		FAX			
E-mail					

※ご記入いただきました住所等の個人情報は、豊橋技術科学大学が実施する催事情報をお知らせする目的以外には、使用いたしません。

## 平成29年度豊橋技術科学大学技術公開講座「技術者養成研修」

### ものづくり技術講座 『コンピュータによる設計(3D CAD)・ 解析(CAE)から製作(CAM)までの実際』

本研修会では、コンピュータによる設計(CAD)・解析(CAE)から 3D プリンタによる製作(CAM)までの一連の方法を体験修得することを目標にしています。3D の CAD・CAE・CAM は、短期間での設計・作製(試作)への要求に応えることができ、3D プリンタの使用により既存の切削加工方法では作製が困難である形状の製品の作製も可能となります。本研修会では、本学教員による講義で 3D CAD 設計, CAE および 3D プリンタの原理を理解しながら、演習によって、これらの利用を体験して、ハイエンド 3D プリンタ (3DSYSTEMS Projet3500HD Max)により精密樹脂部品の作製を行います。3D CAD および CAE には Solidworks を使用します。

日 時：平成30年 **1 月 30 日 (火) ~ 2 月 1 日 (木)**

会 場：豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター附属施設実験実習工場

**定員：10名**  
**(最小催行人数：2名)**  
※実務経験不問

#### 講師紹介

**足立 忠晴(あだち ただはる)**  
豊橋技術科学大学 機械工学系 教授  
(安全安心地域共創リサーチセンター 兼務)  
【専門分野】  
材料力学/構造力学/材料工学/衝撃工学

**阿部 史枝(あべ ふみえ)**  
豊橋技術科学大学 機械工学系 助教  
【専門分野】  
生産加工/塑性加工

実習支援：  
教育研究基盤センター工作支援部門技術職員5名、  
TA (ティーチングアシスタント)1名



## 開催日時および時間割

1月30日(火)

時間	事項	内容	場所
9:45 ~ 10:00	受付		実験実習工場
10:00 ~ 10:15	開講式	教育研究基盤センター長挨拶 講師紹介 講師挨拶	実験実習工場
10:15 ~ 11:30	講義	3D CADによる設計・製図・解析の概論	実験実習工場
11:30 ~ 12:30	昼食・休憩		福利施設
12:30 ~ 16:00	実習	SolidworksによるCAD演習, CAE演習	実験実習工場

1月31日(水)

10:00 ~ 11:30	講義	有限要素解析概論	実験実習工場
11:30 ~ 12:30	昼食・休憩		福利施設
12:30 ~ 14:30	実習	SolidworksによるCAE(有限要素解析)	実験実習工場
14:30 ~ 15:30	講義	3Dプリンタとは(造形原理)	実験実習工場
15:30 ~ 16:00	実習	3Dプリンタによる製作	実験実習工場

2月1日(木)

10:00 ~ 11:30	講義	3Dプリンタの過去, 現在, 未来	実験実習工場
11:30 ~ 12:30	昼食・休憩		福利施設
12:30 ~ 16:00	実習	3Dプリンタによる製作	実験実習工場
16:00 ~ 16:15	閉講式	講師挨拶, 修了証書授与, 写真撮影 教育研究基盤センター長挨拶	実験実習工場

- 修了証書/全課程を修了された方には修了証書を授与

**ところ** 豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター附属施設実験実習工場

**対象** 企業等の技術者、高等専門学校教員、工業高校教員 等

**受講料** 10,000円(受講料は、当日、受付において現金でお支払い願います。)

**申込期限** 平成30年1月15日(月)(定員になり次第、受付を終了とさせていただきます。)

## 受講申込書

以下の内容をFAXまたはE-mailでご連絡ください。  
受講決定者には後日受講案内のご連絡をいたします。

【申込先】豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター(担当:研究支援課センター支援係 白井・萩原)

FAX : 0532-44-6568 E-mail : kencen@office.tut.ac.jp

ふりかな 氏名		性別	男	・	女
所属機関名					
住所	〒				
TEL		FAX			
E-mail					

※ご記入いただきました住所等の個人情報は、豊橋技術科学大学が実施する催事情報をお知らせする目的以外には、使用いたしません。



## 開催日時および時間割

平成29年11月22日(水)

日時	内容		場所
10:00 ~ 10:30	受付		教育研究基盤センター
10:30 ~ 10:50	開講式	教育研究基盤センター長挨拶 講師紹介 講師挨拶	教育研究基盤センター セミナー室(227室)
10:50 ~ 11:50	講義	【講義】 固体 NMR の基礎と先端材料の測定	〃
11:50 ~ 12:50	昼休憩		
12:50 ~ 13:50	講義	【講義・演習】 固体 NMR を用いた先端材料測定の構造解析	教育研究基盤センター セミナー室(227室)
13:50 ~ 14:00	休憩・移動		
14:00 ~ 15:30	演習 実習	【実習】装置を使った実習 無機材料、炭素材料の測定のノウハウ	教育研究基盤センター 実験室(121室)
15:30 ~ 15:40	休憩・移動		
15:40 ~ 16:00	閉講式	講師挨拶 修了証書授与、写真撮影 教育研究基盤センター長挨拶	教育研究基盤センター セミナー室(227室)

●修了証書／全課程を修了された方には修了証書を授与

**ところ** 豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター

**対象** 企業等の技術者、高等専門学校教員、工業高校教員等

**受講料** 5,000円(受講料は、当日、受付において現金でお支払い願います。)

**申込期限** 平成29年11月8日(水)(定員になり次第、受付を終了とさせていただきます。)

## 受講申込書

以下の内容をFAXまたはE-mailでご連絡ください。  
受講決定者には、受講案内のご連絡をいたします。

【申込先】豊橋技術科学大学 教育研究基盤センター(担当:研究支援課センター支援係 白井・萩原)

FAX : 0532-44-6568 E-mail : kencen@office.tut.ac.jp

ふりかな 氏名		性別	男	・	女
所属機関名					
住所	〒				
TEL		FAX			
E-mail					

※ご記入いただきました住所等の個人情報は、豊橋技術科学大学が実施する催事情報をお知らせする目的以外には、使用いたしません。

# 分子工学技術者育成コース

【日程】講義 平成29年10月25日(水)～10月27日(金) (3日間:19.5時間)  
個別研修 10月30日(月)～11月30日(木) (4時間x6回 24時間)

【会場】豊橋技術科学大学 B-208 他

生命環境に重要な分野を対象に基礎講習の後、研究室で核磁気共鳴(NMR)装置、質量分析、X線回折装置等による物質の分子・結晶構造決定の実習を行い、分子工学技術をマスターします。平成29年度は裏面プログラムの内容で開催いたします。多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

【講義内容】 開催日時 10月25日(水) 10:30(受付10:00～)～10月27日(金) 17:50  
開催場所: B-208

- 1) 分子工学概説
- 2) 分子生物学概説
- 3) 分子工学で必須の測定技術の概説及び実測演習
  - ①NMR(核磁気共鳴)
  - ②X線構造解析
  - ③粉末X線構造解析
  - ④質量分析
  - ⑤原子間力顕微鏡
  - ⑥分光測法(赤外、紫外)
  - ⑦分離精製技術

【個別研修内容】 開催日時 10月30日(月)～11月30日(木)  
集合場所: 10/25～10/27の講義時に案内します 13:00～17:30

下記7項目の分析機器の基礎研修と応用研修(各研修、基本的に13:00～17:00の4時間)から6コマを選択頂きます。

- ①NMR(核磁気共鳴)
- ②X線構造解析
- ③粉末X線構造解析
- ④質量分析
- ⑤原子間力顕微鏡
- ⑥分光測色法(赤外、紫外)
- ⑦分離精製技術(薄層クロマトグラフィー、カラムクロマトグラフィー、HPLC)

詳細については裏面のスケジュール及び研修の概要をご確認ください。

【対象者】 一般(大学理工系学部卒業程度以上が望ましい)

【定員】 10名程度(定員になり次第締め切らせていただきます)

【参加費】 50,000円(税込)/名

※参加費は開講日前日(10月24日(火))までに銀行振込みにてお支払いください。(別途ご連絡)

【申込期限】 平成29年10月11日(水)まで

【申込方法】 申込書(別紙 WEB <http://www.sharen.tut.ac.jp/program/2017/2017.html>)に必要事項を明記のうえ、メール([jinzai@office.tut.ac.jp](mailto:jinzai@office.tut.ac.jp)) またはFAX(0532-44-6568)にて、社会連携支援室までお申込ください。

## ◆講義および実測演習スケジュール

日時		10月25日(水)	10月26日(木)	10月27日(金)
2限	10:30-12:00	分子工学概説 (岩佐教授)	X線構造解析 (藤澤助手)	分子生物学概説 (浴教授)
3限	13:00-14:30	NMR概説 (岩佐教授・日本電子)	粉末X線構造解析 (水嶋教授)	原子間力顕微鏡 (手老准教授)
4限	14:40-16:10	NMR実測演習 (岩佐教授)	質量分析 (伊津野教授 ・原口准教授)	分光測色法 (岩佐教授)
5限	16:20-17:50	NMR実測演習 (岩佐教授)	質量分析実測演習 (岩佐教授)	分離精製技術 (岩佐教授)
6限	18:00-19:30	NMR e-ラーニング (岩佐教授)	—	—

※上記eラーニング講義については、東邦大学制作で無償供与されたものであるため、本講座の参加費には反映していません。

## ◆個別研修の概要

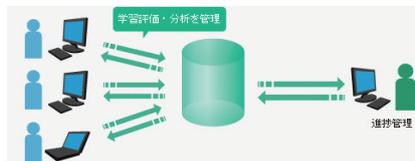
研修項目		担当教員	研修内容(予定)
1	NMR (核磁気共鳴)	岩佐教授	1-1 $^1\text{H}$ -NMR試料調製(D溶媒の取り扱い) 1-2 $^1\text{H}$ -NMR測定, 解析 1-3 $^{13}\text{C}$ -NMR試料調製(D溶媒の取り扱い) 1-4 $^{13}\text{C}$ -NMR測定, 解析 1-5 2D(COASY)測定, 解析
2	X線構造解析	藤澤助手	2-1 単結晶のX線回折から分かること 2-2 結晶の作成・単結晶の選別と取り付け 2-3 X線回折測定と構造解析
3	粉末X線 構造解析	水嶋教授	3-1 粉末資料のXRD測定と定性分析 3-2 固体触媒のXRD測定と結晶サイズの見積り
4	質量分析	岩佐教授 伊津野教授 原口准教授	4-1 試料調製 4-2 有機化合物測定, 解析 4-3 有機金属化合物測定, 解析
5	原子間力 顕微鏡	手老准教授	5-1 大気中でのコンタクトモードまたはダイナミックモード(タッピングモード)での観察 ・観察準備および試料観察(3.5h) ・ソフトウェアを用いた画像解析(1h) 5-2 水中でのダイナミックモード(タッピングモード)観察 ・観察準備および試料観察(4.5h) ※5-1の受講を前提とします。
6	分光測色法 (赤外、紫外)	岩佐教授	6-1 IR(赤外)薄膜法: 試料調製, 測定, 解析 6-2 IR 液膜法: 試料調製, 測定, 解析 6-3 UV(紫外): 試料調製, 測定, 解析
7	分離精製技術 (薄層クロマトグラフィー、カラムクロマトグラフィー、HPLC)	岩佐教授	7-1 TLC(薄層クロマトグラフィー) 実習: 呈色試薬による検知 7-2 カラムクロマトグラフィー精製(シリカゲル, 順相) TLC追跡 7-3 キラルカラムによるHPLC: 鏡像異性体分離

# 最先端植物工場 マネージャー育成プログラム

第6期生募集 期間 2017. 9. 1 金 ▶ 2017. 10. 20 金

- ・太陽光型植物工場における生産現場の栽培管理、品質管理、GAP、統合環境制御を体得する。
- ・人工光型植物工場における植物診断、光合成環境、養液診断、複合制御管理を習得し品質、衛生管理を実習する。

教室講義で連帯感を作った後、  
eラーニングで自宅学習



教室講義

最先端基礎農学

教育プログラム

3つの柱

eラーニング  
動画配信

実験・実習  
課題研究

課題研究により、実践力を養成



日程：平成29年12月～平成31年3月(教室講義、eラーニング、課題研究及び国内外先端施設研修)  
会場：大学・各視察先 他  
募集人員：10名  
受講料：50,000円(ただし、海外の先端施設研修等で実費個人負担がある場合があります。)  
対象者：農業者または農業に関心を持つ方  
応募資格：高等学校卒業程度の学歴を有し、eラーニングを受講可能な方



本プログラムは、文部科学省の「職業実践力養成プログラム」(BP)として認定されています。  
BPとは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力養成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。



大学ホームページ[<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/manager/entry.html>]より志願書をダウンロードし、郵送にてお送りください。

申込先

◆国立大学法人 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

〒440-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 TEL 0532-44-6655 E-Mail: [manager@recab.tut.ac.jp](mailto:manager@recab.tut.ac.jp)

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

TEL: 0532-44-6655 FAX: 0532-81-5108 e-mail: [manager@recab.tut.ac.jp](mailto:manager@recab.tut.ac.jp) URL: <http://www.recab.tut.ac.jp>

主催：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

共催：豊橋技術科学大学 社会連携推進センター、豊橋市 次世代「農力」UPアカデミー事業補助金、(株)サイエンス・クリエイト

## 最先端植物工場マネージャー養成プログラム

### 【教室講義】

科目名	内容	日程	講師	
先端基礎農学特論	土壌植物栄養学	栽培の基本となる土壌科学、植物栄養学、植物生理学を講義	2017年12月2日(土) 2017年12月10日(日)	東北大学 名誉教授 三枝 正彦
	農業統計学	資源動植物の生育、収量データを、統計解析演習を含めて講義	2017年12月23日(土) 2018年1月6日(土)	獨協大学 経済学部 李 凱
	資源植物学	水稲、普通畑作物、工芸作物、蔬菜、果樹、花きの特性等を講義	2018年1月20日(土) 2018年1月27日(土)	豊橋技術科学大学 先端農業・ バイリサーチセンター 特任助教 熊崎 忠
	農業経営学	持続的安定農業経営を行うための基礎的理論等を講義	2018年2月3日(土) 2018年2月10日(土)	名古屋大学 名誉教授 竹谷 裕之
	植物保護学	植物の生育を左右する病原菌、害虫の総合防除法などを講義	2018年2月17日(土) 2018年2月24日(土)	愛知県農業総合試験場 環境基盤部病害虫研究室 室長 三宅 律幸
	ビジネスプラン論	ビジネスプランを作成するための経営戦略・事業戦略の立案手法、理論等を講義	2019年2月～3月 を予定しています。	未定

### 【eラーニング】

科目名	内容	講師	
植物工場栽培管理工学特論	施設園芸学	施設園芸の現状、農業生産上の意義、園芸作物の生育反応などの基礎を講義	愛知県農業総合試験場 山下文秋 愛知教育大学 市橋正一 東北大学名誉教授 三枝正彦 豊橋技術科学大学名誉教授 松本 博
	人工光型植物工場論	人工光型植物工場の現状と特徴、今後のあり方を講義	特定非営利活動法人植物工場研究会 古在豊樹 大阪府立大学 植物工場研究センター 小倉東一 玉川大学 農学部生命化学科 渡辺博之 明伸興産株式会社 川本三一
	太陽光型植物工場論	海外の植物工場、ヒートポンプの多目的利用、CO2施用による光合成促進、細霧冷房について太陽光型植物工場を紹介する。	特定非営利活動法人植物工場研究会 古在豊樹
	施設園芸工学	ハウスの種類別構造、光合成から考える採光性と構造、設備および環境制御を講義	イノチオアグリ株式会社 大門弘明、白井恵理、鈴木邦典
	施設栽培システム工学	養液栽培を中心に養液栽培の技術問題、肥料管理、データ管理、トマトの尻腐れ果発生を防止方法について講義する。	静岡大学 農学部 糠谷 明
	生産環境センサ工学	農業生産を左右する環境について、その特徴および最新のセンシング技術等を講義	豊橋技術科学大学名誉教授 松本 博 豊橋技術科学大学 澤田和明、井上隆信 他
光合成環境制御工学特論	光合成システム論	植物生産の基本となる光合成について、その基本原理を講義	東北大学 大学院農学研究科 牧野 周
	植物育種・バイオテクノロジー	生物の様々な代謝反応や先端遺伝子工学の手法と農業分野での応用を講義	早稲田大学 大学院先進理工学研究科 菊池 洋 豊橋技術科学大学 浴 俊彦、田中照通 他
	光、炭酸ガス制御論	光合成要因の光と炭酸ガスについて、植物の生理に及ぼす影響、計測法と制御法を講義	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 滝川浩史 豊橋技術科学大学 先端農業・バイリサーチセンター 山内高弘 トヨタネ株式会社 三浦慎一
	温度、湿度制御論	温度と湿度について、植物の生理に及ぼす影響、計測法と制御法を講義	トヨタネ株式会社 大月祐介 榊原 IT 農業技術士事務所 榊原正典 豊橋技術科学大学 先端農業・バイリサーチセンター 熊崎忠
	複合環境制御学	植物工場における複合環境制御を行うための計測制御と装置を紹介し、コンピューターを利用した制御法を講義	近畿大学 生物理工学部 星岳彦 岡山大学 農学部 安場健一郎
	養液管理論	養液栽培の概要、培養液の処方箋の作り方及びトマトやバラ、イチゴ栽培における培養液管理の具体例を紹介。また、培養液の管理と制御法及び培養補正の仕方とそれぞれのデータの取扱い方法についても講義	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 岩崎泰永
植物工場経営管理工学特論	情報管理論	農業現場に必要とされる農業情報の収集・分析及び加工・配布方法を学ぶと共に、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelによるデータ管理・分析、ネット販売システムの基礎など農業情報のための情報処理ツールを習得する。	愛知県立大学 情報科学部 入部百合絵
	環境経営論	本講義では農業従事者が知っておくべき環境問題（循環型社会、地球環境問題、水質、廃棄物・・・）をわかりやすく解説すると共に、そのような環境影響を評価する方法について学習する。	東洋大学 情報連携学研究科 後藤尚弘 豊橋技術科学大学 井上隆信
	知的財産管理	農業技術やその関連産業で生み出される知的財産の情報管理及び地域特産物のブランド化に関する権利取得法等について学ぶ。	SANSUI 国際特許事務所 井川浩文、小西俊春
	農業マーケティング論	ビジネス創出のために、経営理念の立て方、SWOT分析、マーケティングの基礎知識を講義	MORE 経営コンサルティング(株) 日野真明 地域ビジネス研究所 中野和久
	自動制御論	施設園芸に使われるシーケンス制御、制御装置、リレー制御、PLC 制御基礎などについて講義	明石工業高等専門学校 電気情報工学科 上 泰
	食農リスク管理論	農畜産物の安全・安心の確保を目的とするトレーサビリティシステムの概要を学び、農産物の生産現場への GAP 導入の実務についても学ぶ。	豊橋技術科学大学名誉教授 平石 明 東北大学名誉教授 三枝正彦 豊橋技術科学大学 田中三郎 イノチオアグリ(株) 山本英治

### 【その他】

※先端施設研修は、国内外6回程度を予定しています。  
※教室講義は、講師または会場の都合により一部日程が変更になる場合があります。



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# IT食農先導士養成プログラム 第2期生募集

(最先端土地利用型IT農業コース) 募集期間:2017.9.1~10.20

## ◆概要・目的



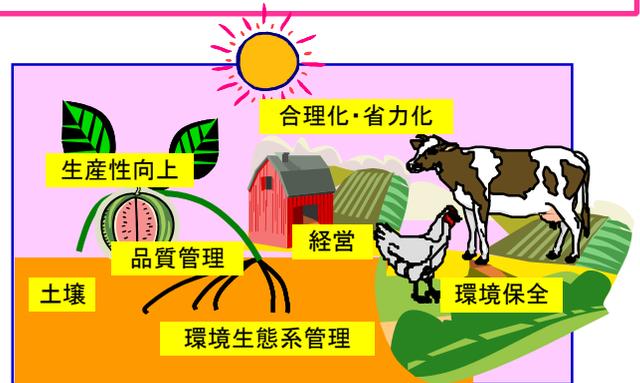
受講期間:2017年12月~2019年3月(1年4か月)  
募集人員:5名  
応募資格: ● 高等学校卒業以上の学歴を有する方  
● 東三河及び周辺地域に在住・在勤の方  
● IT農業に関心がある方  
● 自宅でインターネットに接続できる方  
受講料:5万円  
(※ただし、現地研修等で実費個人負担がある場合があります。)

## 事業概要

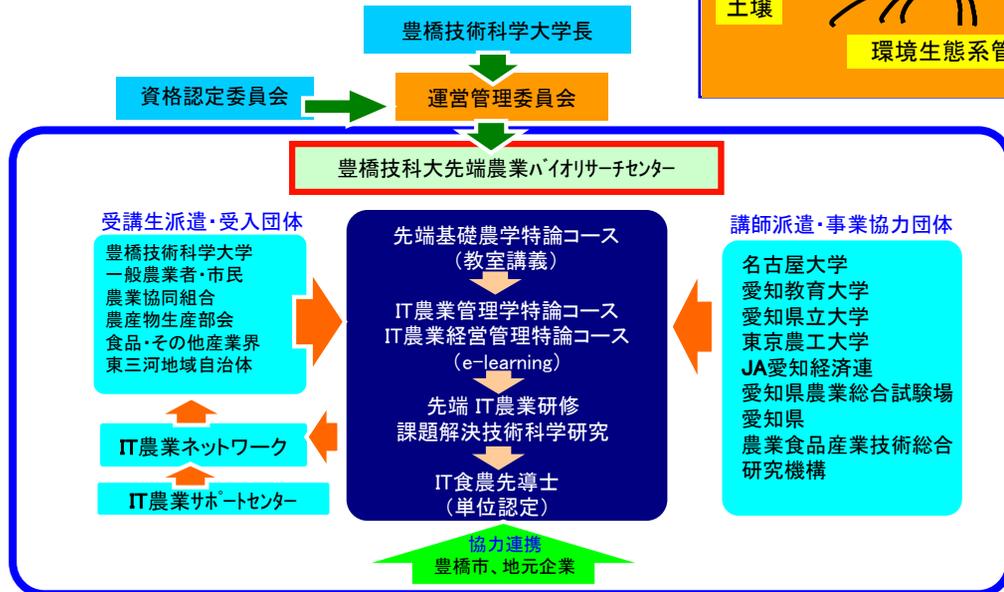
豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、土地利用型農業において将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な土地利用型農業の管理、経営ができるIT農業人材を育成し、農業と地域の活性化を図る。

豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンターが愛知県と地域自治体の連携のもと、「IT食農先導士養成プログラム(土地利用型IT先端農業コース)」事業を実施。「IT食農先導士」を養成。

生産環境に左右される農業に、先端的技術科学の情報と工学技術を体系的に導入し、IT生産管理・IT経営管理のできる人材



## ◆実施体制



## ◆受講生のメリット

- ① プログラムの習得により農商工融合分野の最新知識を有する「IT食農先導士」の称号が豊橋技術科学大学から授与される。
- ② 各種営農資金などの応募に際し、自治体や地域信用金庫から積極的な情報提供が受けられる。
- ③ 「IT農業ネットワーク」の形成によって、連携した営農と地域の中核農業者となる。
- ④ 豊橋技術科学大学「IT農業サポートセンター」より最新のIT情報と農業情報が提供される。
- ⑤ 農商工連携、農業の6次産業化のノウハウが得られる。



Brush up Program  
for professional

本プログラムは、文部科学省の「職業実践力養成プログラム」(BP)として認定されています。BPとは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力養成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。

大学ホームページ[<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/itagri/entry.html>]より志願書をダウンロードし、郵送にてお送りください。

申込先 ◆国立大学法人 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター  
〒440-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 TEL 0532-44-6655 E-Mail: sendoshi@recab.tut.ac.jp

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

TEL: 0532-44-6655 FAX: 0532-81-5108 e-mail: sendoshi@recab.tut.ac.jp URL: <http://www.recab.tut.ac.jp>

主催: 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

共催: 豊橋技術科学大学 社会連携推進センター、豊橋市 次世代「農力」UPアカデミー事業 補助金、株式会社サイエンス・クリエイト

## IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)

### 【教室講義】

科目名	内容	日程	講師
先端基礎農学特論	土壌植物栄養学	栽培の基本となる土壌科学、植物栄養学、植物生理学を講義	2017年12月2日(土) 東北大学 名誉教授 2017年12月10日(日) 三枝正彦
	農業統計学	資源動植物の生育、収量データを、統計解析演習を含めて講義	2017年12月23日(土) 獨協大学 経済学部 専任講師 2018年1月6日(土) 李 凱
	資源植物学	水稲、普通畑作物、工芸作物、蔬菜、果樹、花きの特性等を講義	2018年1月20日(土) 豊橋技術科学大学 先端農業・ 2018年1月27日(土) バイオリサーチセンター特任助教 熊崎 忠
	農業経営学	持続的安定農業経営を行うための基礎的理論等を講義	2018年2月3日(土) 名古屋大学 名誉教授 2018年2月10日(土) 竹谷裕之
	植物保護学	植物の生育を左右する病原菌、害虫の総合防除法などを講義	2018年2月17日(土) 愛知県農業総合試験場 2018年2月24日(土) 環境基盤部病害虫研究室 室長 三宅 律幸
	ビジネスプラン論	ビジネスプランを作成するための経営戦略・事業戦略の立案手法、理論等を講義	2019年2月～3月 を予定しています

### 【e-ラーニング】

科目名	内容	講師	
IT農業管理特論	圃場－作物栄養診断	土壌診断や作物栄養診断について、生産現場で実践可能な簡易診断法を含めて講義	東北大学 名誉教授 三枝正彦
	6次産業実践論	ケーススタディによる事例紹介、ケースメソッドによる想定課題に対する解決方法の検討などを通して、6次産業化の現場で必要とされる知識の習得を図る。	食と農研究所 加藤寛昭
	IT精密農業論	精密農業の特徴や独自性、その技術体系および農業ロボットについて講義	東京農工大学 農学研究院 澁澤 栄
	環境保全型農業論	農薬や化学肥料の使用を抑え、自然生態系本来の力を利用して行う農業。農業のもつ物質循環機能を生かし環境と調和した持続可能な農業生産のあり方を習得する。	東北大学 名誉教授 三枝正彦
	バイオマス活用論	バイオマスの農業利用、特にコンポストやエネルギーとしての利用について講義	国立研究開発法人 農業・食品産業 技術総合研究機構 平内央紀
	農業環境計測論	植物の生育を左右するフィールドの環境要因に加えて経営要因等の計測方法を学ぶ。	日本大学 生物資源学部 梅田大樹
IT農業経営管理特論	情報管理論	農業現場に必要とされる農業情報の収集・分析及び加工・配布方法を学ぶ。また、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelによるデータ管理・分析、ネット販売システムの基礎など農業情報のための情報処理ツールを習得する。	愛知県立大学 情報科学部 入部百合絵
	環境経営論	本講義では農業従事者が知っておくべき環境問題(循環型社会、地球環境問題、水質、廃棄物...)をわかりやすく解説するとともに、そのような環境影響を評価する方法について学習する。	東洋大学 情報連携学研究所 後藤尚弘 豊橋技術科学大学 井上隆信
	知的財産管理	農業技術やその関連産業で生み出される知的財産の情報管理について学び、地域特産物のブランド化に関する権利取得法等についても学ぶ。	SANSUI 国際特許事務所 井川浩文、小西俊春
	農業マーケティング論	ビジネス創出のために、経営理念の立て方、SWOT分析、マーケティングの基礎知識を講義	MORE経営コンサルティング(株) 日野眞明 地域ビジネス研究所 中野和久
	農業支援政策論	農業生産・経営を行う上で、必要な様々な関係法規について学習する。	名古屋大学 名誉教授 竹谷裕之
食農リスク管理論	農畜産物の安全・安心の確保を目的とするトレーサビリティシステムの概要を学び、農産物の生産現場へのGAP導入の実務についても学ぶ。	豊橋技術科学大学 名誉教授 平石 明 東北大学 名誉教授 三枝正彦 豊橋技術科学大学 田中三郎 イノチオアグリ(株) 山本英治	

### 【その他】

※先端IT農業研修は5か所程度を予定しています。  
 ※教室講義の講師・日程等は変更になる場合があります。

平成29年度受講生募集

豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター プロデュース

# 東三河防災カレッジ

HIGASHI MIKAWA BOSAI COLLEGE

日本は世界に稀に見る地震国です。

とくに2011年の東日本大震災のあと、日本各地で地震・火山活動が活発化しています。

2016年4月14日と16日には、熊本で連続して大きな地震が発生しました。

東三河地域は、近い将来に発生する南海トラフ巨大地震によって、甚大な被害が予想されています。

そのため、企業・自治体等において、災害時に活躍できる防災の担い手の育成は、緊急の課題です。

豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンターでは、この講座を通じて、

災害から「**経営（事業）**」、「**建物（施設）**」、「**生命（生活）**」を守る人材の育成を目指します。

安全安心地域共創リサーチセンター長 齊藤大樹

## 開催概要

- 催事名** 平成29年度「東三河防災カレッジ」
- 開催期間** 平成29年10月～平成30年2月
- 会場** 豊橋駅前の貸し施設他、東三河地域内の各所
- 対象** 企業、自治体関係  
その他、防災に関心のある方
- 講座&募集人数**
- ①防災基礎講座（50名程度）
  - ②経営（事業）を守る人材の育成講座（30名程度）
  - ③建物（施設）を守る人材の育成講座（30名程度）
  - ④生命（生活）を守る人材の育成講座（30名程度）
- 受講料** 副教材等の費用として下記受講料が必要となります。
- ① 1,000円 | ②、③ 各 5,000円 | ④ 3,000円
- （受講料は申込後、各講座の開催日当日に会場受付にて現金でお支払い下さい）

## 講座案内

### 防災基礎講座

自然災害に対する近年の研究動向、技術開発、制度設計の状況を解説します。また、東三河各市の防災への取り組み状況を共有します。

### 経営（事業）をまもる人材の育成講座

地震による企業活動の被害を最小限に抑え、早期に事業を復旧・継続するための知識・技術の習得を目指します。

### 建物（施設）をまもる人材の育成講座

建物の耐震性を高めることが被害の軽減には不可欠です。建物の耐震性の評価方法、補強方法、地盤の液状化対策など、建物を守るための知識・技術の習得を目指します。

### 生命（生活）をまもる人材の育成講座

発災時の避難、その後の避難所開設・運営方法他、自分とその身の回りの家族や従業員の命を守るための知識・技術の習得を目指します。

## 申込概要

- 募集期限** 平成29年9月29日（金）17時00分
- 募集人数** 50名程度
- 受講料** 1,000円～（副教材費等）
- 申込方法**

本ちらし裏面の申込書をご利用いただくか、右のQRコードからWEB上の「応募フォーム」にアクセスし、お申込みください。



主催・運営 豊橋技術科学大学 企画 東三河防災・減災連絡会

問合せ 豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター 担当：穂苅

Tel. 0532 - 81 - 5157 E-mail. info@carm.tut.ac.jp

# プログラム

## ① 防災基礎講座

募集人数 50名程度 受講料 1,000円

第1講	ガイダンス・地震防災概論 齊藤大樹（豊橋技術科学大学安全安心地域共創RCセンター長）	この講座について 地震発生メカニズムと備え方	10月3日（火）16:00～18:30 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第2講	（防災のための制度・しくみ） 名執 深（豊橋技術科学大学安全安心地域共創RC副センター長）	日本の防災への取り組み 日本の防災、世界の防災	10月10日（火）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第3講	東三河の災害リスクと企業防災 蒲郡・豊川・豊橋・田原の企業防災自治会	各企業団地の概況、各企業団地のリスク想定 これまでに具体化した防災対策と今後の課題	10月17日（火）16:00～17:30 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）

## ② 経営（事業）をまもる人材の育成講座

募集人数 30名程度 受講料 5,000円

第1講	企業とレジリエンス 増田幸宏（芝浦工業大学システム理工学部 准教授）	災害を克服するためのレジリエンスの考え方 企業のレジリエンスを高めるためのポイント	10月24日（火）16:30～18:30 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第2講	BCPの基本マインド 細川栄一（東京海上日動火災保険（株）RSP担当エージェント/エキスパート（株）リスクマネージャー）	なぜBCP策定が必要なのか？	10月31日（火）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 B
第3講	BCP作成実務とシミュレーション 細川栄一（東京海上日動火災保険（株）RSP担当エージェント/エキスパート（株）リスクマネージャー）	机上訓練から入る作成実務	11月9日（木）16:00～18:00 豊橋市民センター（カリオンビル）中会議室
第4講	（BCPとBCM） 小野高宏（三菱商事インシュアランス リスクコンサルティング室長）		（11月第3週で調整中）
第5講	BCPと地域連携：明海工業団地の見学 古海盛昭（株）デンソー豊橋製作所 所長	災害に強い組織のつくりかた、なぜ地域連携か、 事前対策の最前線（転倒防止 / 避難場所 / 備蓄等）	11月24日（金）13:00～17:00 （株）デンソー豊橋製作所

## ③ 建物（施設）をまもる人材の育成講座

募集人数 30名程度 受講料 5,000円

第1講	建物の地震対策は必要か ～地震リスクの考え方～ 中澤祥二（豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 教授）	地震リスクの考え方（地震リスク評価、地震ロス 関数、地震ハザード曲線）	12月1日（金）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第2講	建物はどうやって耐震化するのか 松井智哉（豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授）	建物の耐震性とは、どうやって診断するか、 どんな補強方法があるか、いくらかかるのか	12月8日（金）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第3講	建物の設備を守るにはどうしたらよいか 齊藤大樹（豊橋技術科学大学安全安心地域共創RCセンター長）	設備被害と営業への影響 いろいろある設備の転倒防止対策	12月15日（金）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第4講	地域地盤特性と関連する地盤災害 松田達也（豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 講師）	地盤の成り立ち、地盤特性、 それらに関連する地盤災害	12月22日（金）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第5講	（臨海施設対策において留意すべきこと） 濱田政則（アジア防災センター・センター長／早稲田大学名誉教授）		（1月10日（水）で調整中）

## ④ 生命（生活）をまもる人材の育成講座

募集人数 30名程度 受講料 3,000円

第1講*	歩いて学ぶ：防災マップのつくりかた 豊橋市防災危機管理課	豊橋市発行「防災コミュニティマップ作成の手引き」 を用いて、職場・生活圏の安全性を見直す	12月2日（土）13:00～17:00 豊橋市民センター（カリオンビル）中会議室
第2講	（生活のなかの防災、地震 I T S U M O） 永田宏和（NPO法人プラス・アーツ理事長／防災プロデューサー）	身のまわりのものでできる応急手当 食べながら備えるローリング・ストック法など	1月11日（木）16:00～19:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 B
第3講*	避難所のつくりかた：避難所の運営体験（HUG） 豊橋市防災危機管理課	静岡県開発のキッドを用い、避難者の受け入れや配置、 避難所で起こる様々な出来事を模擬体験	1月20日（土）9:30～12:30 あいトピア多目的ホール
第4講	災害時における避難の課題と対策 杉木 直（豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授）	人はなぜ避難できないのか 円滑な避難を実現するための対策	1月25日（木）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）
第5講	自主避難の課題：近年の災害の状況をふまえて 本塚智貴（人と防災未来センター 主任研究員）	避難所利用 エリア型支援	2月1日（木）16:00～18:00 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室（大）

④生命（生活）をまもる人材の育成講座の第1講と第3講は、豊橋市との共催講座（無料）です。

## 申込書

本申込書をお使いになる方は、下記 FAX または E-mail にてお申込みください。

FAX 0532-81-5195

E-mail [kouza@carm.tut.ac.jp](mailto:kouza@carm.tut.ac.jp)

受講したい講座に  (チェック) をつけて下さい。

- ① 防災基礎講座
- ② 経営（事業）をまもる人材の育成講座
- ③ 建物（施設）をまもる人材の育成講座
- ④ 生命（生活）をまもる人材の育成講座

ふりがな

氏名

会社名・所属・役職

E-mail

電話番号

（日中連絡がしやすい番号）

年齢

所在地

FAX

安全安心地域共創リサーチセンターが運営する Web サイト「つながる防災」からの防災情報を口受け取らない（←必要のない方はチェック）

ご記入いただいた個人情報は、本事業の目的以外で使用することはありません。



## 国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

平成29年9月12日

### 豊橋を中心とした日本の国際協力活動！ ～産学官連携による産業クラスターの取り組みを通じて～

政府開発援助 (ODA) 事業の一環として、2017年9月20日 (水) ～ 2017年10月21日 (土) まで、開発途上国 9ヶ国 (インドネシア、チュニジア、ベトナム、メキシコ、エジプト、エチオピア、ガーナ、パキスタン、バングラデシュ) 合計 11名の研修員が来日し、豊橋を中心とした産学官連携、産業クラスターの事例を学び、自国の地域産業振興を目指します。

豊橋技術科学大学では、国際協力・国際貢献活動の一環として、JICA (国際協力機構) の課題別研修「クラスター・アプローチによる地域産業振興(B)」を実施します。

この研修は、好事例として国内でも高い評価を得ている豊橋のクラスター活動に焦点を当て、豊橋市や多様な地域関係機関、各産業クラスター関係者と連携しながら、途上国の地域産業振興に貢献することが狙いです。

研修参加者が、自国/地域のニーズに即した効果的なクラスターを構築・推進するため、わが国の中央政府/地方自治体 (市レベル) /地域研究機関/産業支援機関/大学/企業等が有する経験・知見を総動員し、意見交換やディスカッションの機会も豊富に組み込みながら、途上国と日本側が学び合うプログラムとなっています。



2016年度研修の様子

#### ▼ぜひ取材下さるようお願い致します！

日付	時間	内容	場所
9月25日 (月)	17:00～18:30	歓迎会 (大西隆学長主催)	豊橋技術科学大学 キャンパスカフェ
10月4日 (水)	13:30～15:30	豊橋技術科学大学の産学連携 2 講師：澤田和明教授 (電気・電子情報工学系)	豊橋技術科学大学 総合研究実験棟 3階 303号室
10月5日 (木)	10:00～12:00	豊橋技術科学大学の産学連携 3 講師：寺嶋一彦副学長・教授 (機械工学系)	

※ 来たる 9月12日 (火) 11:00 から開催予定の本学定例記者会見にて、より詳細についてご説明致します。興味をお持ちの方は是非、ご参加下さい！

#### 【本件問合せ先 (詳細日程等もご提供致しますのでお気軽にお問合せ下さい！)】

事業担当者：国際協力センター 特任助教 余語 豊彦

TEL:0532-81-5114 (内線:3087) E-mail: master@icceed.ignite.tut.ac.jp

広報担当：総務課広報係 TEL:0532-44-6506



## 平成29年度 第5回定例記者会見

### 2017年度JICA課題別研修

#### 「クラスター・アプローチによる地域産業振興(B)」

—豊橋市や多様な地域関係機関と連携し、途上国の産業振興に貢献—

豊橋技術科学大学 グローバル工学教育推進機構 (IGNITE)

国際協力センター (ICCEED)

センター長／教授 穂積 直裕

報告:

国際協力センター 特任助教 余語 豊彦

メールアドレス: master@icceed.ignite.tut.ac.jp

Tel:0532-44-6938

## 研修の概要

- ① 豊橋技術科学大学(以下本学)が、独立行政法人 国際協力機構(JICA)の行う政府開発援助(ODA)活動の一環として、途上国における産業振興の担い手である行政官、産業 支援機関、大学などの人材を育成する研修。
- ② 近年、途上国においても、効果的な産業振興の手法として注目を集めているクラスター・アプローチを学ぶもの。豊橋市を中心とした東三河地域、東海・近畿地方における産業クラスター関係者などと連携し、9月中旬から約1ヶ月間実施。
- ③ 本学が中心となり、日本における産業クラスター活動を「計画づくり」、「組織化」、「活動を活性化」、「成果を導き出すための工夫」など、様々な観点から整理し、研修プログラムとして取り纏めて提供。

# 研修の特徴①

## 豊橋を中心とした日本の取り組みから学ぶ

期間:

2017年9月20日(水)から2017年10月21日(土)まで

※豊橋での滞在期間:2017年9月24日(日)～10月9日(月)

参加者:

9カ国、11名の行政、大学、産業支援機関等の関係者

インドネシア(1)、チュニジア(1)、ベトナム(2)、メキシコ(1)、  
エジプト(1)、エチオピア(2)、ガーナ(1)、パキスタン(1)、  
バングラデシュ(1) ※( )内、参加人数

講師:

政府(中央・地方)、専門家、シンクタンク産業支援機関、  
大学・研究機関、実際にクラスター運営・促進した経験者 他

# 研修の特徴②

## <研修のコンセプト>

【研修の目的】

<上位目標>: クラスター・アプローチを通じて、開発途上国の産業が育成・強化され、地域経済が活性化される。

<研修目標>: 研修員が、対象地域に合った実務的かつ効果的なクラスター・アプローチを習得する。

【研修による“学び”】

- ①クラスターの概念、構造、政策、体制作り、取り組み、運営・促進方法の理解。
- ②地域産業振興のための効果的なクラスターアプローチの理解。

研修の関係機関	
中央政府	中部経済産業局、近畿経済産業局
地方政府(市レベル)	豊橋市
シンクタンク	公益社団法人 東三河地域研究センター、地域ビジネス研究所 地域文化創造研究所(名古屋市)
産業支援機関	株式会社サイエンス・クリエイト 他
産業界	シンフォニアテクノロジー株式会社 他
研究機関	愛知大学三遠南信地域連携研究センター
大学	本学 光産業創成大学大学院(浜松市)

【委託元】独立行政法人 国際協力機構 (JICA)



2015年度研修員による講義

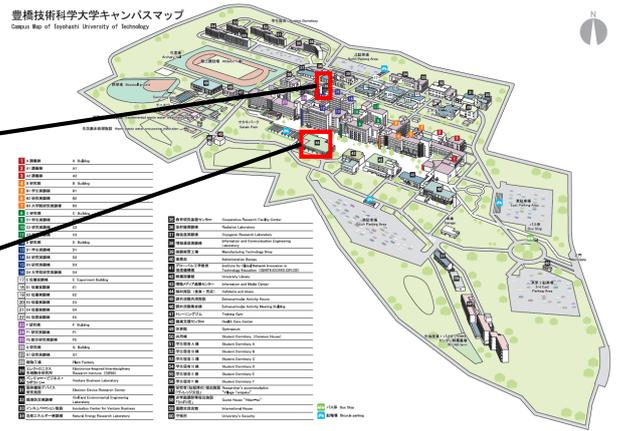


2016年度研修員 閉講式後

# 【参考】本学における主なイベント

日付	時間	内容	場所
9月25日(月)	17:00~18:30	歓迎会 (大西隆学長主催)	豊橋技術科学大学 Campus Café (喫茶店)
10月4日(水)	13:30~15:30	「豊橋技術科学大学の産学連携2」 (本学の産学連携事例、成果等を紹介) 講師：澤田和明教授 (電気・電子情報工学系)	豊橋技術科学大学 総合研究実験棟3階 303号室
10月5日(木)	10:00~12:00	「豊橋技術科学大学の産学連携3」 (本学の産学連携事例、成果等を紹介) 講師：寺嶋一彦教授 (機械工学系) ・ 副学長 (研究担当)	

豊橋技術科学大学キャンパスマップ  
Campus Map of Toyohashi University of Technology



10月4日 (水)、5日 (木)  
研修会場：総合研究実験棟3階303号室

9月25日 (月)  
歓迎会会場：Campus Café (喫茶店)

豊橋技術科学大学プレゼンツ  
第2回ドリームレクチャーズ

# 人生8勝7敗 最後に勝てばよい

講師 元大関・琴風 / 尾車部屋親方  
日本相撲協会 理事・事業部長 **尾車 浩一 氏**



元大関・琴風、その人生は「まわり道」の連続だった。

1971年、中学生力士として初土俵。1977年1月、新入幕。1978年1月、史上4番目の速さで関脇に昇進し、一躍大関候補になるが、同年11月、左膝靭帯断裂の大ケガで幕下へ。

1980年、再入幕し、再関脇として奇跡のカムバックを果たし、大関候補となるも、再び左膝靭帯断裂に加え、左膝半月版損傷・左腰部挫傷の大ケガで休場。

1981年、必死のリハビリで関脇として復帰。同年7月初優勝をはたし大関に昇進するも、1985年には右膝の靭帯も損傷。わずか28歳で現役を引退。

そして、2012年、地方巡業の準備中に転倒し頸髄（けいずい）捻挫による全身麻痺で寝たきり状態に。しかし、現役時代の「不屈の精神」で懸命のリハビリを重ね、奇跡の現場復帰を果たす。現在は、テレビ番組、スポーツニュースの解説者としても活躍中。

人は誰しも「夢」を抱きます。その夢に向かってひたむきに努力し、成し遂げる姿に人々は感動を覚え、勇気を与られます。

豊橋技術科学大学がお届けする「ドリーム レクチャーズ」では、数々の困難を乗り越えて夢を掴み、さらなる夢を追い続ける各界の著名な方々をお招きし、夢を叶えるまでの道程や、夢を叶えるための準備、心構えなどを語っていただき、皆さんの夢、未来、明日を見つめ直すひとときを提供いたします。

各分野で活躍する著名な方々による「夢の講演」をどうぞお楽しみください。

日時 平成29年 **10月5日** 木 14:40 ~ 16:10

場所 豊橋技術科学大学 ● 講義棟 A-101

**聴講自由**

主催 豊橋技術科学大学  
後援 豊橋商工会議所  
社会人キャリアアップ連携協議会

本件問い合わせ先 豊橋技術科学大学総務課総務係

電話 0532-44-6504 E-mail : somsom@office.tut.ac.jp